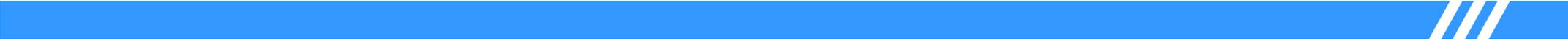


リニア駅周辺整備基本計画 策定にあたっての考え方

飯 田 市

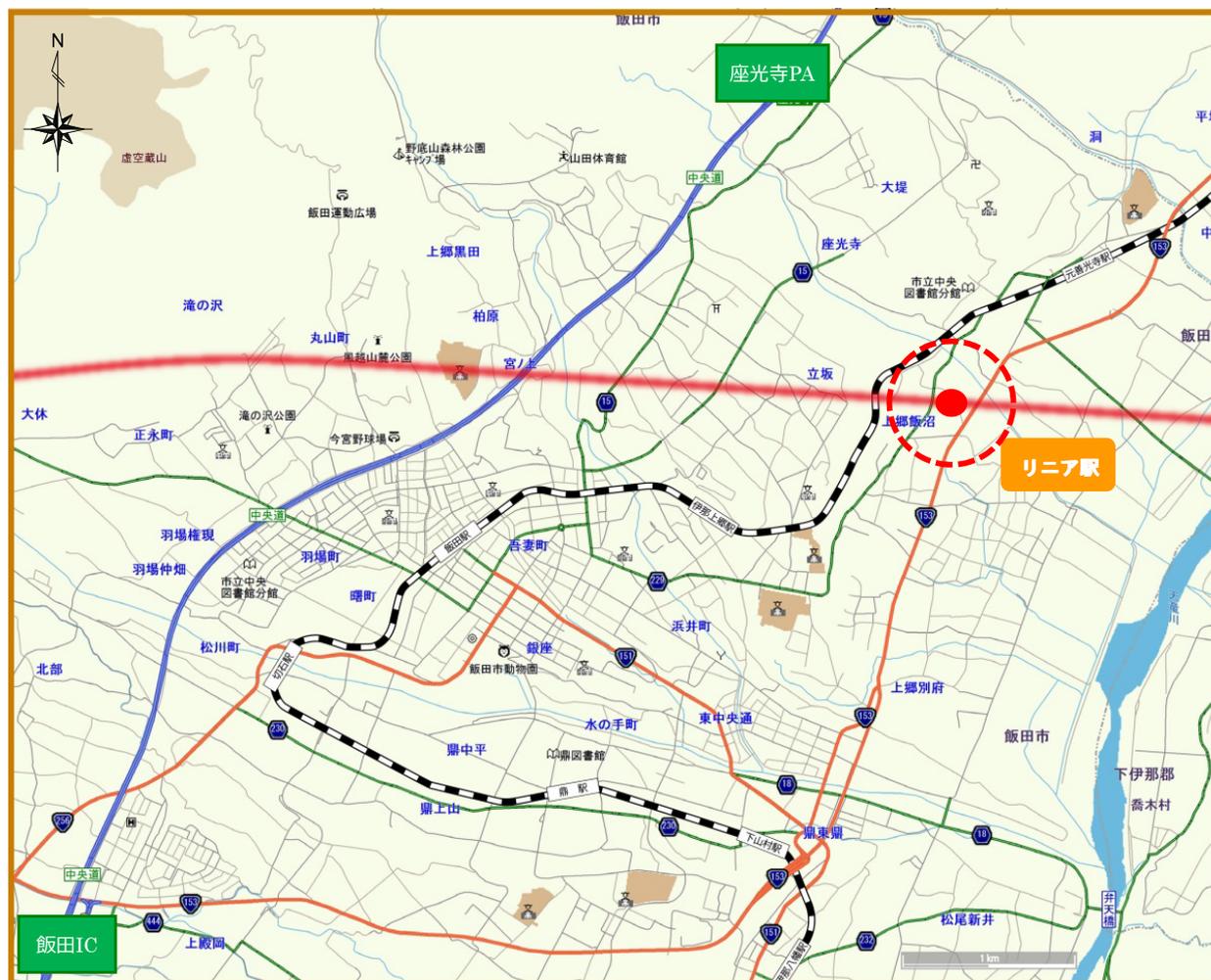
平成29年1月19日



リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

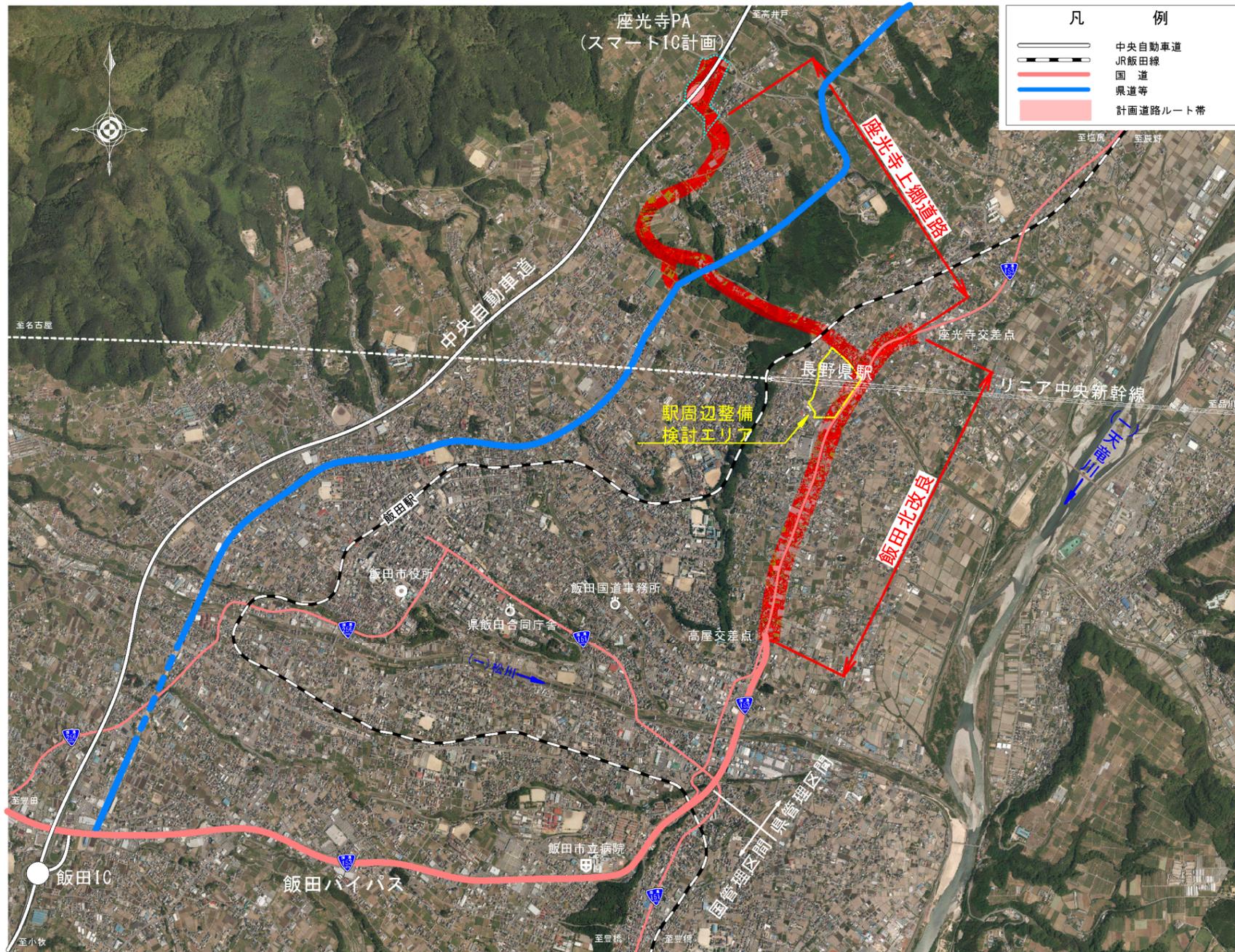
1 リニア駅の位置

- リニア駅の設置予定地は、飯田市上郷飯沼地区で、中心市街地から北東約3 kmに位置します。
- 駅舎は、東に国道153号、西に県道市場桜町線、北に一級河川土曾川、南に市道五郎田線に囲まれたエリア内に整備される予定です。
- 中央自動車道座光寺パーキングエリアへのスマートインターチェンジ（SIC）の整備、SICとリニア駅を結ぶ座光寺上郷道路の整備が計画されています。



出典：リニア駅周辺整備基本構想（H27.6月）

リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方



リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

2 リニアバレー構想

- 平成28年2月に、長野県及び伊那谷の各自治体で構成する「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」において、リニア開通に向けた地域づくりの指針として「リニアバレー構想」を策定しました。
- 今後は、具体的な取組や事業(プロジェクト)についての検討を進め、同構想の実現を目指します。

<構想概要>

1 国際空港へ1時間でアクセスするグローバル活動拠点 ～世界とつながる～

グローバル産業や研究開発機関、航空産業クラスター、メディカルバイオクラスターといった新たな時代の産業の集積と次世代産業の創出を進めます。

2 巨大災害時のバックアップと食料・エネルギーの新しい供給拠点 ～日本を支える～

首都圏と中京圏の中間に位置し、リニアを活かした時間短縮効果を最大限発揮できる地の利をいかすことで、首都機能や企業の中核機能のバックアップを果たします。

3 高度な都市空間と大自然とが近接した「対流促進圏域」 ～ここで豊かに暮らす～

都市圏への通勤や二地域居住、週末農業など新たなライフスタイルを提案するとともに、豊かにくらすための地域づくりや魅力ある自然環境の保全と景観の形成を進めます。

4 世界から人を呼び込む感動フィールド ～ここでふれあう～

インバウンドも含めた広域観光の促進により交流人口を拡大させるため、美しい信州の原風景や文化を活かした広域観光ルートづくりや体験型観光の促進を図ります。

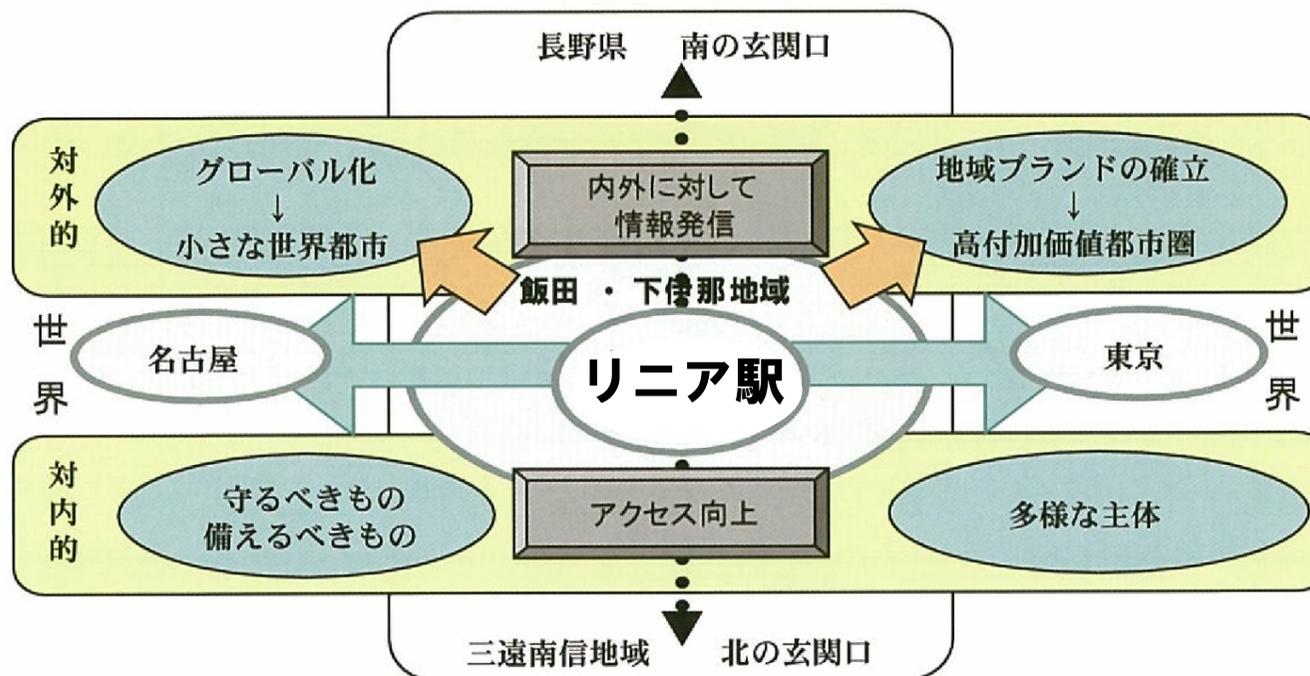
リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

3 リニア将来ビジョン

- 平成22年、南信州広域連合はリニア開通後の地域づくりの基本指針として「リニア将来ビジョン」を取りまとめ、同ビジョンが目指す地域像をより具体化し、取り組みを進めるため平成27年3月に「基本構想・基本計画」を策定しました。

地域像

将来の地域像として、対外的には「小さな世界都市」「多機能高付加価値都市圏」の構築を掲げ、地域内には「守るべきもの」「備えるべきもの」を明らかにし、「多様な主体」が取り組むことの必要性を示しています。



リニアを活かした まちづくりの展開

飯田市は、リニア開業により、長野県の南の玄関口として世界とつながります。

リニアの整備効果を広く波及させるため、既存ストックを最大限に活かしながら、「当地域に息づく文化・歴史・自然」と「高度な都市空間」との対流を促進する「田園型の学術研究都市づくり」を進め、知の創発拠点をつなぐナレッジリンクの一翼を担うまちを目指します。

〈リニア時代に望まれる広域的なインフラ〉

- ・研究開発機能の拠点施設
- ・高等教育機関
- ・コンベンションセンター
- ・スポーツ施設

〔 南信州広域連合
「第4次広域計画」より 〕

【中心拠点】 歴史・文化を活かした交流・産業・居住のステージ

かつて信州一の商都であった歴史や、りんご並木・人形劇、城下町が育んだ『美しきまち飯田』の品格を磨きあげることで、「求心力」や「中心性」を高め、未来へとつなげていきます。

人形劇の世界都市づくり 国内最大級人形劇の祭典 各種イベント(公民連携) 緑のネットワーク・オープンスペースの創出 中央公園と桜並木 利便性・暮らしやすさの追求 マンション整備(公・民)	まちなかMICE ホテル・国際会議機能 業務機能の集積・誘導 「学輪HIDA」 飯田大学連携会議 「21世紀型の新しいアカデミーの機能や場をつくる」
---	--

交通による結節



【広域交通拠点周辺】 交流・定住・学術研究エリアの創出

様々な「知」が集積する産業振興の拠点として、ナレッジリンクの一翼を担います。世界とつながる玄関口にふさわしい、歴史と文化に育まれた環境・景観づくりに取り組みます。

新たな産業振興の拠点 AKA 信州大学 ・航空宇宙産業クラスター形成特区 ・研究開発事業の拠点施設 ・信州大学航空機システム共同研究講座	低炭素な暮らし創造 ・職・農・住近接 ・田園に囲まれた暮らし 環境配慮型住宅 ゼロエネルギー ハウスの推進 (公民)
二千年浪漫の郷 恒川官衙遺跡(国史跡) (史跡公園イメージ) 飯田古墳群(国史跡)	ZEB (ネット・ゼロ・エネルギービル) ZEH (ネット・ゼロ・エネルギーハウス)

【交流拠点】 名勝天龍峡の再生・遠山郷の魅力発信

地域の様々な資源・資産を生かして人を呼び込み、交流を活かします。美しい自然と人の営みとの調和をベースとした魅力を発信していきます。

新たな観光施設の創造 天龍峡大橋 歩廊整備 (国土交通省/飯田市) 天龍峡温泉交流館建設 (飯田市) 2016年開設予定 ココロファーム ビレッジ (農業レストラン)	自然の美・民俗芸能 日本のチロル「下葉の里」 南アルプス ヌネスコ公園 霜月まつり 湯立神楽
--	--

【地域拠点】 地域オリジナリティの追求 田園回帰を目指して

各地域の中で、連続と受け継がれてきた伝統や文化、固有の景観を資産と捉え、結いの精神とおもてなしの心で人・もの・情報を迎え入れ、さらに豊かで個性ある地域を育みます。

田舎へ還ろう戦略 各地域ごと個性を活かして田園回帰戦略に取り組みます。 サテライト オフィス事例 (徳島県神山町)	テレワーク型の推進 ワークインレジデンス ワーキングホリデー 空き家の活用	本社機能・研究開発型企業の誘致 地域経営事業体との協働 地域に根差した産業を支援 6次産業化の推進 農林産物ブランド構築 地域産材(遠山杉) 市田柿
---	--	---

飯田型ツーリズムの発展 地域による再エネ資源活用

飯田型ツーリズムの発展 サイクルツーリズム 農家民泊 体験教育旅行 南信州・飯田フィールドスタディ	地域による再エネ資源活用 地域の豊富な再エネ資源と地域の「結い」を活用して、低炭素で活力ある地域づくりを推進します。 おひさまファンド (おひさま進歩エネルギー) おひさま発電所
南信州・飯田フィールドスタディ 地育力が LG(地域・地球) 飯田学習 身近な地域から考え、地球規模で行動できる人材を育む	地育力

交通・情報のネットワーク

リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

4 リニア駅周辺の目指す姿（基本理念）

ローカル グローバル ゲートウェイ
信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口

- 信州や伊那谷の持つ豊かな個性（豊富な自然や美しい風景、伝統、文化など）を大切にし、さらに高めることで世界を惹きつける魅力を育み、リニアを通じて世界へ発信していきます。

<目指す役割>

- 県内の各地域をつなぐ交通結節点になるとともに、地域の多様性を活かして豊かな暮らしを実現する持続可能なまちづくりに向け、「拠点集約連携型都市構造」における一つの拠点である「広域交通拠点」としての役割を果たします。
- 長野県の南の玄関口として、信州・伊那谷らしさを感じられる地域の魅力を発信すると同時に、来訪者を迎え入れる場、地域の人々が集う場として、多様な交流の起点となることを目指します。

リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

5 アイデア募集

- 平成28年4月から5月にかけて、リニア駅及び周辺の整備・まちづくり等に関するアイデア募集を行い、7月にはヒアリングを実施しました。頂いた多くの貴重なアイデアを基に、各部会で検討を進めました（※今回は下線のあるアイデアを主に検討）。

◎ リニア駅・駅周辺・交通広場・二次交通に関する主なアイデア

施設整備関係	内外装・施設運営関係
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>北側にトランジット施設、南側に交流施設を整備</u> ● <u>コンコースを2階層にし、交通広場を2階部分に</u> ● <u>国道153号・座光寺上郷道路から立体交差で進入</u> ● <u>緑化された平面駐車場</u> ● 自動運転用の乗降レーン、駐車場の整備 ● 交番の建設 ● ヘリポートの建設 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外観（赤土色で統一、緑を基調、吊り橋をイメージ、自然を生かす、県産材活用等） ● 内装（壁面に紹介写真を掲載、水引で装飾等） ● 周辺整備（花壇、太陽光発電、大きなオブジェ） ● <u>バリアフリー化</u> ● <u>ラウンドアバウトの導入</u> ● <u>Wi-Fiの整備</u> ● ICTを活用した誘導・案内 ● 乗り入れ車をEV限定 ● <u>自然を生かした駅前広場（ビオトープ等）の整備</u>
<ul style="list-style-type: none"> ● 元善光寺駅とモノレールで結ぶ ● <u>飯田線乗換新駅の建設（リニア駅の上に）</u> ● 丘の上や郊外、伊那八幡と元善光寺を結ぶ鉄道建設、新たな交通手段の整備 	

◎ 観光・交流施設に関する主なアイデア

施設整備関係	施設運営関係
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>観光案内・市町村PR施設、魅力発信（アンテナショップ）の建設</u> ● 商業施設（駅ビル・土産品店・農産物等直売所・ショッピングモール等）の建設 ● 農業体験施設の建設 ● <u>地元食材を利用した飲食店・食堂、便利施設（銀行・コンビニ・喫茶店）の建設</u> ● <u>イベント広場の建設</u> ● 宿泊施設（ホテル等）、温泉施設の建設、足湯の設置 ● 大観覧車、展望台・展望デッキの建設 ● 墓地の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>外国人向けコンシェルジュの配置</u> ● リンゴ並木やリンゴ狩り・柿等をテーマに田舎を演出 ● 天体観測の開催 ● 地域独自の資源を生かしたツアーの催行 ● 週末信州人（新たなライフスタイル）の提案 ● ゆるキャラの活用 ● 終の棲家としてPR

◎ 芸術文化・スポーツ施設に関する主なアイデア

施設整備関係	施設運営関係
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化ホール(会館)の建設 ● サッカー場など体育施設の建設、スキー場などスポーツ施設の充実 ● 公園の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統芸能・舞台芸術等の披露・公演 ● 土曾川の活用（水遊び等）

◎ その他

<ul style="list-style-type: none"> ● シニアのまち飯田（高齢者の誘致、CCRC）、医療施設の誘致（メディカルシティ） ● 駅と元善光寺を結ぶ街道の修景、コミュニティ空間の整備

リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

6 リニア駅周辺整備区域の整備コンセプト

1. 機能的でコンパクトな駅空間
2. 伊那谷らしさを感じられる駅空間
3. 自然との調和を目指した駅空間
4. 地域コミュニティの拠点となる駅空間

1. 機能的でコンパクトな駅空間

- 駅を訪れる人々が、天候を気にせず利用できる便利でコンパクトな駅空間
- 歩行者や車利用者もアクセスしやすく、ユニバーサルデザインで使いやすい駅空間
- 乗り換えや待ち合わせも便利で快適に過ごせる駅空間

2. 伊那谷らしさを感じられる駅空間

- 美しい山並みや日本の原風景とも言える里山の風景を眺望できる駅空間
- 来訪者を信州・伊那谷各地へ誘い波及効果を高めるため、地域の魅力や情報を発信する駅空間
- 信州・伊那谷の地場産品や伝統芸能等に触れられる駅空間

3. 自然との調和を目指した駅空間

- 多面的な機能を持つグリーンインフラ（※）が整備された駅空間
- 新たに作り出される景観と伊那谷の美しい自然が調和した駅空間
- 再生可能エネルギーの活用や低炭素社会の取り組みの場となる駅空間

4. 地域コミュニティの拠点となる駅空間

- 地域住民がより暮らしやすく、日常生活で便利に使える駅空間
- イベントや行事など地域住民がコミュニティ活動の場として活用できる駅空間
- 非常時には防災機能を果たし、地域住民が安全に避難できる駅空間

※グリーンインフラとは、自然の持つ力や機能を活かし、「緑」を都市の中に上手に組み込み、都市基盤として機能させようとする考え方。従来のインフラのような特定の目的による建設・活用と異なり、環境・経済・社会等の多面的な便益が得られることを想定している。

リニア駅周辺整備基本計画策定にあたっての考え方

7 駅周辺イメージ図①

